



2022年7月29日

各 位

会社名 株式会社ラックランド
 代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
 (コード番号: 9612 東証プライム)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 健太郎
 (TEL: 03-3377-9331 (代表))

2022年12月期 第2四半期(累計) 連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期 第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)の連結業績予想数値と、本日公表いたしました同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期 第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値と実績値との差異

(2022年1月1日～2022年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------------|---------------|-----------|-----------|--------------------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 19,900 | 百万円 78 | 百万円 98 | 百万円 11 | 円 銭 11.31 |
| 実 績 値 (B) | 17,971 | △372 | △101 | △211 | △21.05 |
| 増 減 額 (B-A) | △1,928 | △450 | △199 | △222 | --- |
| 増 減 率 (%) | △9.7 | --- | --- | --- | --- |
| (ご参考) 前期連結実績 [2021年12月期第2四半期] | 18,716 | 366 | 414 | 240 | 25.10 |

2. 差異の理由

当年度の期初の時点から売上高は下期偏重であることを見込んでおりましたが、2022年第1四半期は新型コロナウイルス第6波で経済活動が止まり、顧客による当社の主たる事業である店舗制作への投資が当初より鈍くなり、当第2四半期において売上高は計画通りに推移したものの、2022年上期で延期になった物件が

2022 年下期の引渡し予定へ延期になっております。

売上総利益については、長期大型物件において、半導体をはじめとする資機材の納入の遅れから、工期順守へ向けた原価増や原材料費の上昇ならびに当第 2 四半期に入り、経済環境の回復が顕著になってきた中、新規顧客の獲得へ向け積極的に取り組んだ結果、売上総利益率が一時的に低下しましたが、物件の受注を重ねる中で、改善は見えており、売上総利益率の向上に向けたトレンドは変わっておりません。

上記のとおり、当第 2 四半期連結累計期間においては、期初計画と比較して売上高が 1,928 百万円減少し、売上総利益率が一時的に低下したため、営業利益は、期初計画を 450 百万円下回りました。

また、「営業外収益（為替差益）計上に関するお知らせ」において本日付けで公表しましたとおり、当第 2 四半期累計期間においては、為替差益 191 百万円を営業外収益として計上したものの、営業利益が期初計画を下回ったことで、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益においても、期初計画を下回る結果となりました。

2022 年 12 月期通期連結業績につきましては、当年度の売上傾向が下期偏重型であることに加え、前述のとおり、着工延期や工期が伸びている案件について、当年度下期での完工が予定されていること、また、売上総利益率は上昇傾向にあると判断しており、2022 年 2 月 14 日に公表した期初業績予想は修正しておりません。

以 上